

地域密着、身近な話題を体験取材!

まちかど

特派員だより

文房具として一人一台のパソコン ICT端末を活用した授業風景

コロナ禍で日常茶飯事になった学級閉鎖。そこで気になるのがパソコンを使っているリモート授業。というわけで今回、市内小学校のICT(情報通信技術)環境について調べてみました。

市内の小・中学校では、ICT端末が全ての児童・生徒に配備され、全ての普通教室に無線LANが整備されています。この充実したICT環境で、どのような授業が行われているか、大石北小学校の「総合的な学習の時間」の授業を見学し、小学校でICTがどのように活用されているのか取材しました。

授業は、「埼玉の自慢発見プロジェクト」と題し、思い思いに選んだ埼玉に関するテーマを約半年かけて掘り下げていくというものでした。まず、それぞれが調べた内容を個人のICT端末に入力していました。入力した内容は、リアルタイムで教室の前方に置かれた大型モニタ画面に映し出されます。同時に個人の学習者用パソコンでもクラス

メイトのテーマを確認でき、気付いたことなどを入力することができません。

児童たちからは、キーボード入力に慣れていない様子が見えましたが、改めて、ICTが身近にある世代なのだと思いがされました。実際、入力の仕方などパソコンの使い方、説明は授業になく、学習教材の一つとして小学1年生からICT端末を活用しているそうです。

その後の授業では、入力した感想をもとに、口頭でクラスメイトと意見交換をして、考えを深めていきました。黙々とICT端末に向かっていく時とは打って変わって、活発に意見を交換する児童の姿が印象的でした。

また、この日は学校を欠席した児童もオンラインでこの授業を受けていました。新型コロナウイルス感染症の影響で学校に来られない場合など、オンライン授業のニーズは確実にあるそうです。また、今後はICT端末の家庭学習での活用なども検討されている



大石地区
ほそみ
細見 玲子さん

そうです。

日進月歩のICTを活用した授業の方法について、先生たちも試行錯誤しているとのこと。ICTを使うことを目標とせず、文房具として使いこなすという意識のようですね。これまで培ってきた教育実践も大切に、より多くのニーズや深い学びのためにICTは活用されていくのだと思います。



端末を使いこなす児童



発表する児童たち

市民の情報交流スポット



広報広聴課 ☎775-4918・☎776-8873

おいでください

■2023ニューイヤーガラコンサート 2月23日(祝)14:00~16:30、響の森桶川市民ホール 定640人 費2,000円 当日 宮津☎775-2723 **ひと言!** オペラの名曲を合唱、ヴァイオリン、2台ピアノと共に。
■第31回合唱ゼミナール 2月19日(日)13:30~16:30、文化センター 定96人 費1,200円 当日 安野☎775-0841 **ひと言!** 講師に國土先生をお迎えし、発声法について学びます。

いきいきサークル

●花の丘(社交ダンス) 毎週(火)13:00~15:00または15:15~16:45、市民体育

アッピーNET掲載団体募集

アッピーNETは市民の皆さんの交流の場として、催しなどへの参加者募集「おいでください」と、各団体のサークル会員募集「いきいきサークル」を掲載しています。観客を増やしたい・会員数を増やしたい団体は気軽に申し込んでください。申し込み方法など、詳しくは市ホームページをご覧ください。



館 費月額3,000円(入会金1,000円) 印 波田野☎080-5460-2089(20:00まで) **ひと言!** 基本から指導。親睦の会です。無料体験あり。見学を待つ。
●やまぶき 毎月第2・4(木)13:30~15:30、上尾公民館 費月額2,500円(入会金1,000円) 印 松木田☎771-6074(19:00まで) **ひと言!** 基礎を学びつつ手編みでセーターを編んでみませんか。
●英会話サークル「ノエル」 毎週(水)10:00~11:30、文化センター 費月額3,000円 印 中島☎772-3204(19:00~21:00) **ひと言!** レッソンは月4回、月1回は英国人講師のレッスンです。
●茶道(表千家)あやめ会 毎月第1・3(土)13:00~17:00、県民活動総合センター

費月額2,000円 印 松永☎090-5202-8307 **ひと言!** 日本伝統の茶道を通して和の心を学び豊かな生活を送る。
●健康太極拳「白鶴」 毎月3回(火)9:30~11:00、文化センター 費月額3,000円(入会金3,000円) 印 五十嵐☎725-7328(19:00まで) **ひと言!** ゆったりとした動きと深い呼吸で心も体もやわらかく。
●大谷尺八同好会 毎月第2・4(金)13:00~16:00、大谷公民館 費月額2,000円 印 田中☎633-4388(18:00以降) **ひと言!** 邦楽・歌謡曲他尺八に興味のある人、一緒にいかが。



定…定員 印…対象 費…費用 当日…当日、直接会場へ 申…申し込み



ケーナを演奏する武田さん

興味を持って、そこでのサークルで演奏した。偶然目に入ったとき、教室を探していき、

南米アンデスのフォルクローレ(大衆音楽)は『コンドルは飛んでいく』や『花祭り』などで親しまれ、アンデスの自然を連想させる豊かで軽快な音楽が特徴です。演奏にはさまざまな楽器が用いられますが、その中でも主旋律を奏することが多いのが、ケーナとサンポーニャです。今回は、18歳でプロの世界に飛び込み、ボリビア多民族国大統領来日歓迎レセプションの演奏を担うなど、最前線で活躍するケーナ・サンポーニャ奏者の武田耕平さんにお話を伺いました。

スポット ライト

～人・仲間～



武田 たけだ

耕平 こうへい

(井戸木在住)

アンデスの風を運ぶ

ケーナ・サンポーニャ奏者

参加したのが始まりだったそうです。「中学～高校時代はさまざまなミュージシャンと交流をしました。そういった経緯もあって、いつの間にかプロになろうという思いが芽生えていました」と当時を振り返ります。

プロの道へ進んでしばらくし、自身の交流から生まれた縁で、ボリビア多民族国大統領来日歓迎レセプションでの演奏の話が届きました。「初めての出来事で、最初は実感が湧きませんでした。当日はボリビアを代表する楽曲を演奏させていただきました。ボリビアの文化をこれからも伝えてほしい、という大統領の言葉は今も胸に残っています」と話す武田さん。以来、コンサートや小・中学校での公演を通じて、多くの人に南米アンデスのフォルクローレを伝えていくことを目標として活動しているそうです。「上尾市は文化施設が多く、都内へのアクセスも良いのでとても活動しやすい場所だと思います。いつか、教室を開講しさらにいろいろな人にケーナとサンポーニャの楽しさを教えたいです」と展望を語ります。「まずは目の前のことを頑張ります」と、2月5日(日)に文化センターで開催するコンサートに向けて意欲を燃やしました。

フォルクローレを伝えたいという強い気持ちと胸に秘めた武田さんの演奏は、きっと多くの人の心にアンデスの爽やかな風を運んでくれるでしょう。

読者の声

「クイズ アッピーを探そう！」(2ページ参照)で寄せられた『広報あげお』への感想・意見を紹介します。今月は1月号です。

⇒ 広報広聴課 ☎775-4918 ・ ☎776-8873 ※内容は一部要約しています。



特集 市長新春座談会 グローバル社会を生きる子どもたちへ～上尾市の英語教育～

- 子どもたちの明るい未来のために、大人が今できることは何なのか、真剣に考えなければいけないのだと、改めて感じました。(50代)
- 小さい時から英語に慣れることでグローバルな世界が広がり、とても重要な教育だと思います。(40代)

上尾で英語を学んだ子どもたちが、世界で活躍することを期待します。



わが街☆いいトコ! こんなトコ!

- 上尾に住んでいても、知らないことや気が付かないことが多くあります。上尾の名前の由来も初めて知りました。(80代)
- 広報は地元の情報を得ることができます。特に「わが街☆いいトコ! こんなトコ!」を見て、いい場所があれば出掛けたいです。(70代)

「わが街☆いいトコ! こんなトコ!」は各地区の魅力を紹介していきます。皆さんからの市内のいいトコ! こんなトコ! も募集中です。



「広報あげお」は、読者の皆さんの感想を参考にし、より良い誌面作りを目指しています。これからも皆さんの感想をお寄せください。